

長野県の金融経済動向

(2023年10月2日)

【概 況】

長野県経済は、生産に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、個人消費は緩やかに増加している。住宅投資は弱含んでいる。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。

この間、生産は弱めの動きとなっている。雇用・所得は持ち直している。

企業の業況感は、幾分改善している。

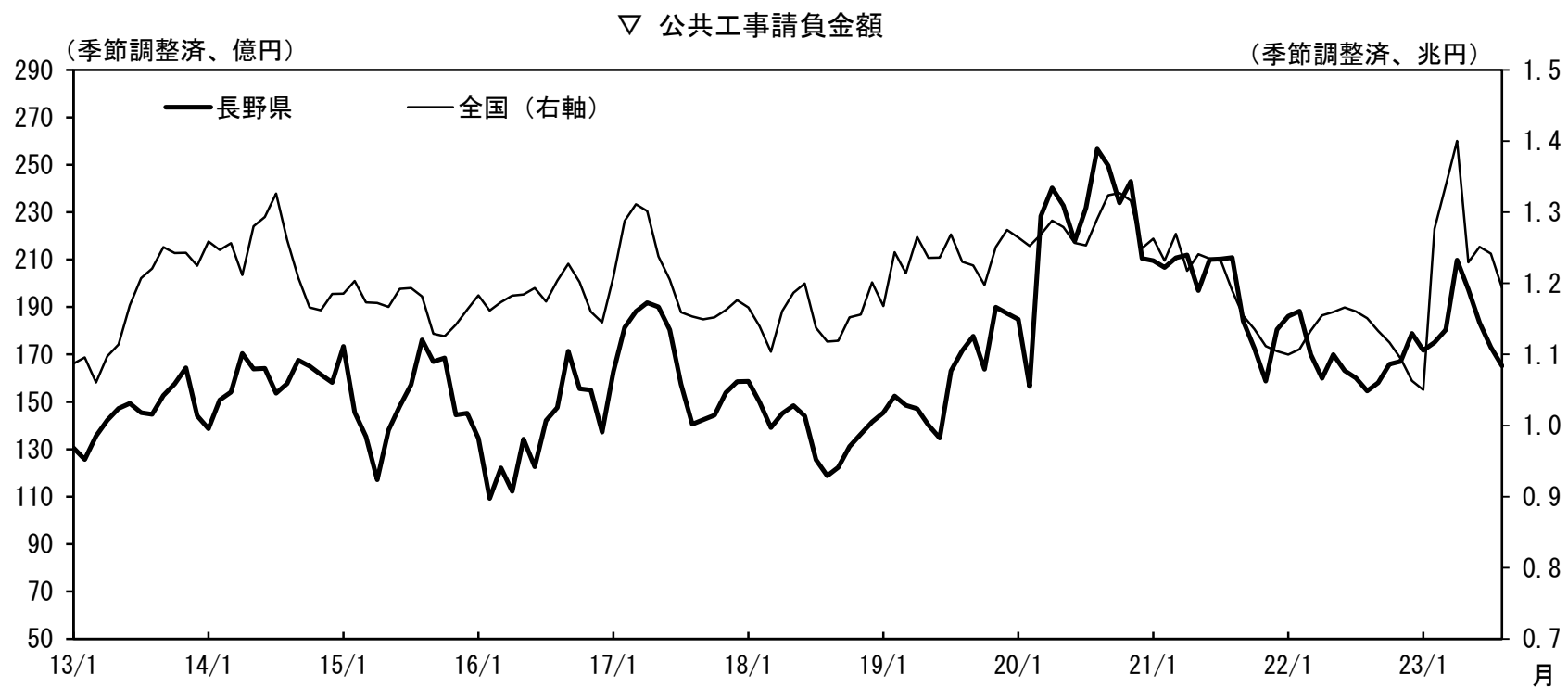
【前回からの変化】

23/9月	23/10月
<p>長野県経済は、生産に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・個人消費は緩やかに増加している。・住宅投資は弱含んでいる。・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。・生産は弱めの動きとなっている。・雇用・所得は持ち直している。	<p>長野県経済は、生産に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・個人消費は緩やかに増加している。・住宅投資は弱含んでいる。・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。・生産は弱めの動きとなっている。・雇用・所得は持ち直している。

1. 実体経済

公共投資

公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。



(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

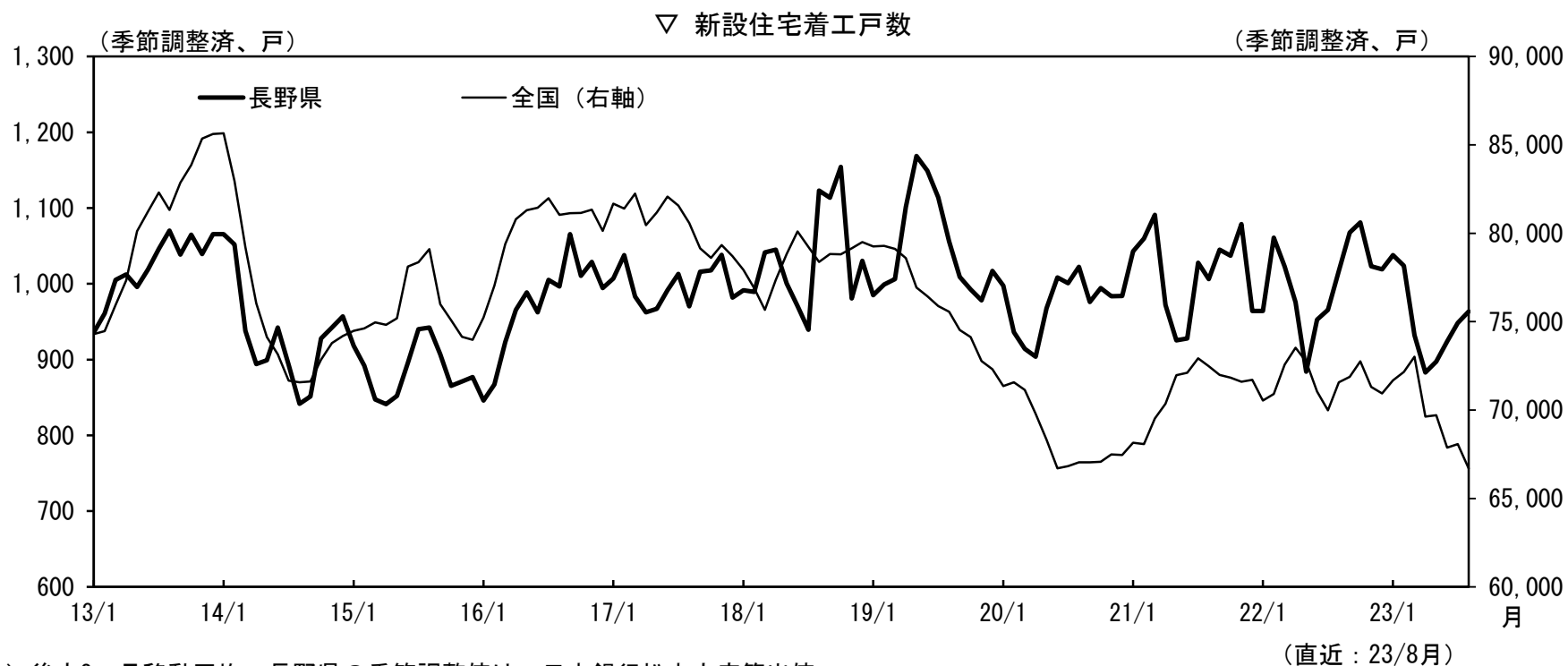
(直近：23/8月)

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は弱含んでいる。



(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

1. 実体経済

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、23年度は前年度を上回る計画となっている。

輸出は、23年度は前年度を下回る計画となっている。

企業収益は、23年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	4.8	80.0
非製造業	- 11.2	11.0
全産業	2.6	71.8

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	16.0	- 1.9

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	- 15.6	- 19.1
非製造業	16.2	- 4.3
全産業	- 12.0	- 17.0

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	9.0	15.0
非製造業	9.3	11.8
全産業	9.2	13.0

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業 <大企業>	16.1	1.6

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	8.0	- 4.7
非製造業	24.0	- 1.0
全産業	16.2	- 2.7

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(23/9月)」

1. 実体経済

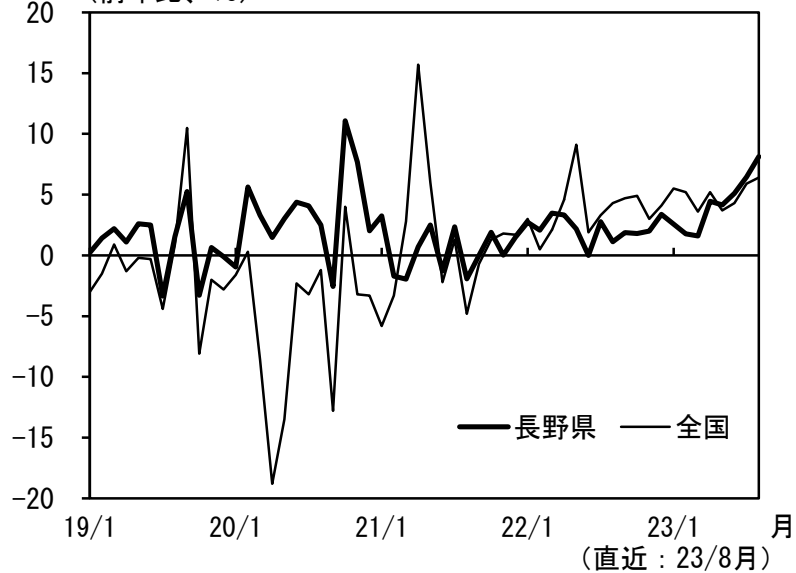
個人消費

個人消費は緩やかに増加している。

県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は緩やかに増加している。家電販売額は横ばい圏内の動きとなっている。新車登録台数は増加している。サービス消費は緩やかに増加している。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）

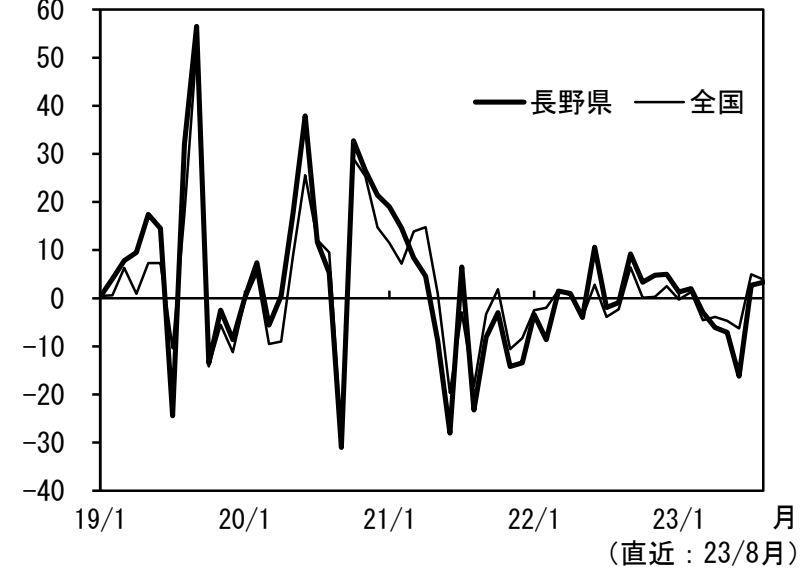
（前年比、%）



（出所）長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額

（前年比、%）

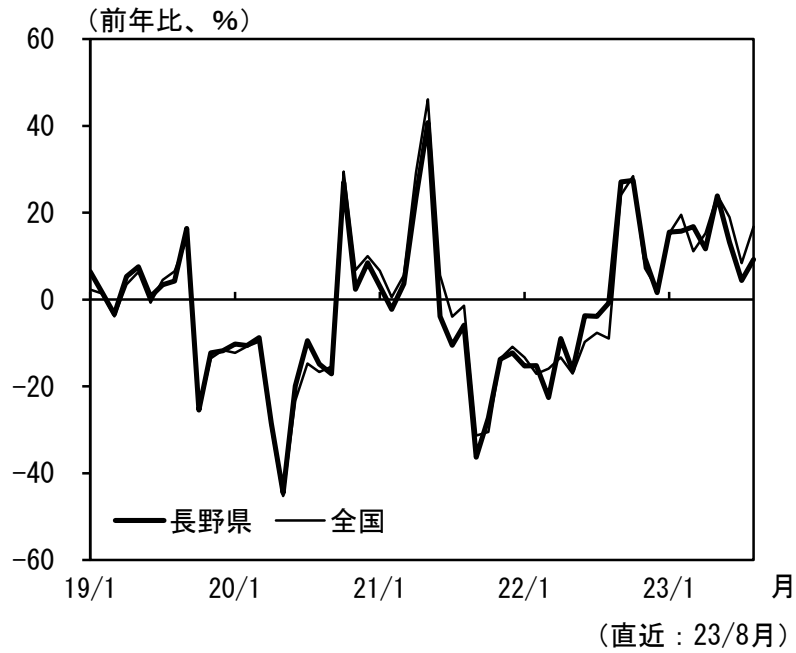


（出所）経済産業省「商業動態統計」

1. 実体経済

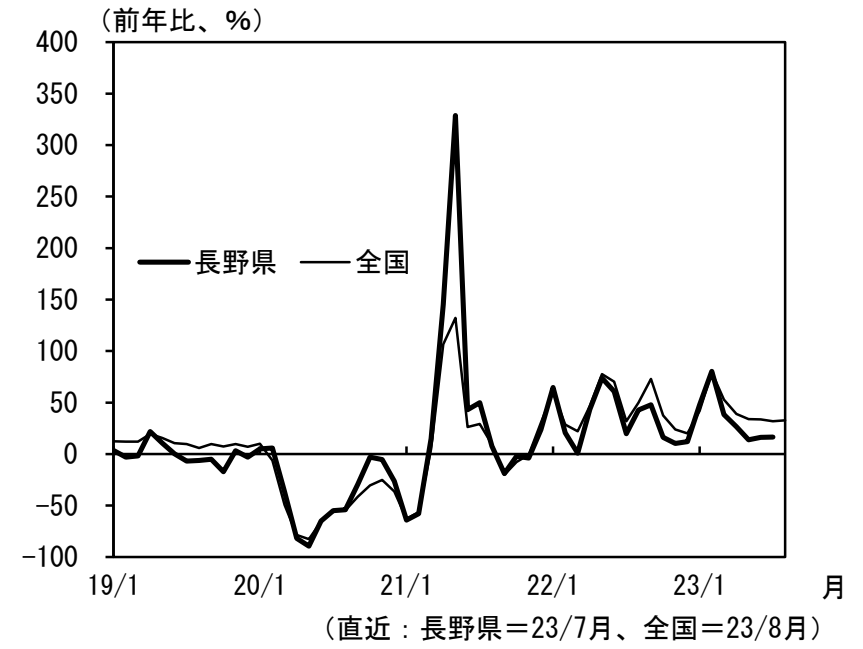
個人消費

▽ 新車登録台数



(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

▽ 延べ宿泊者数



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

1. 実体経済

生産

生産は弱めの動きとなっている。



1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等は減少している。

自動車関連は増加している。

機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。

飲料は持ち直している。

【前回からの変化】

23/9月	23/10月
<p>半導体関連・電子部品等は減少している。</p> <p>自動車関連は持ち直している。</p> <p>機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>飲料は持ち直している。</p>	<p>半導体関連・電子部品等は減少している。</p> <p><u>自動車関連は増加している。</u></p> <p>機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>飲料は持ち直している。</p>

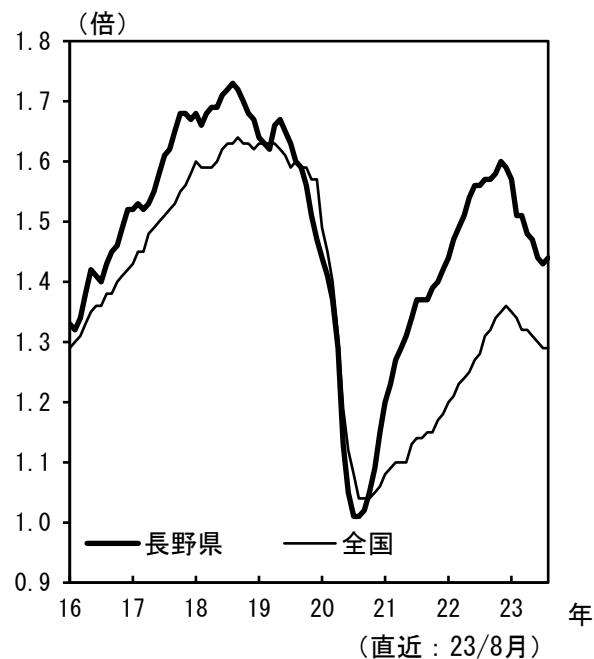
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は持ち直している。

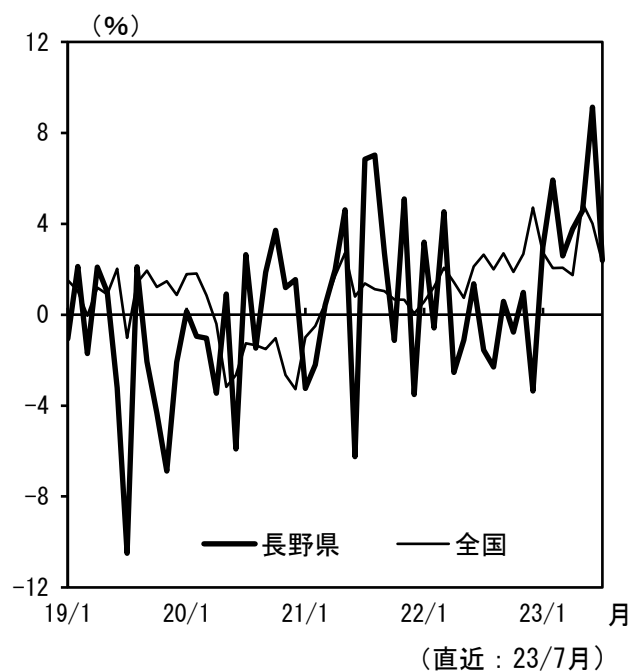
有効求人倍率は、持ち直しの動きが一服している。雇用者所得は、持ち直している。就業者数は、下げ止まりつつある。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

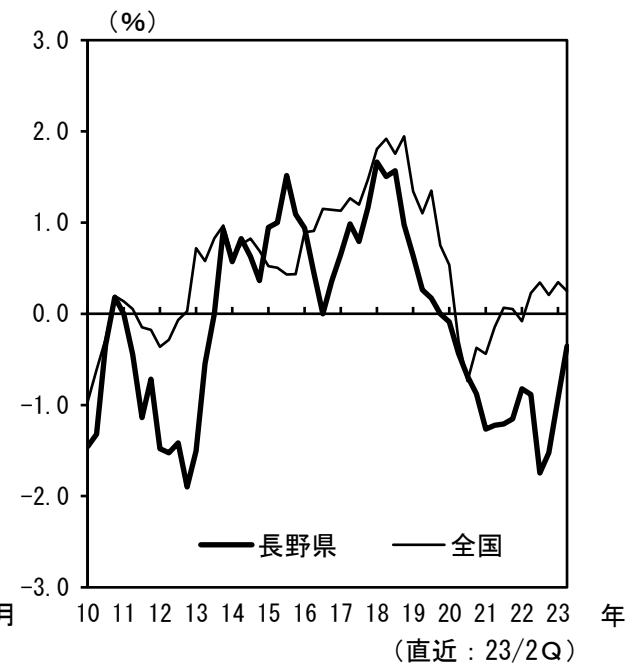
▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の
前年比。

(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

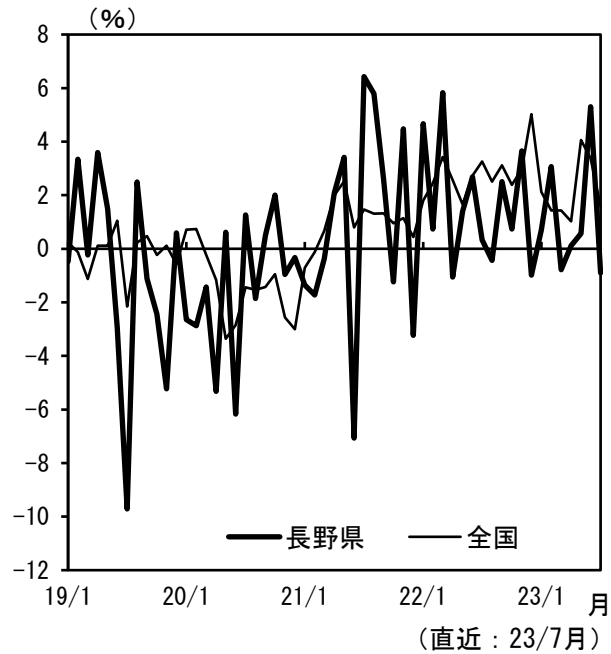


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

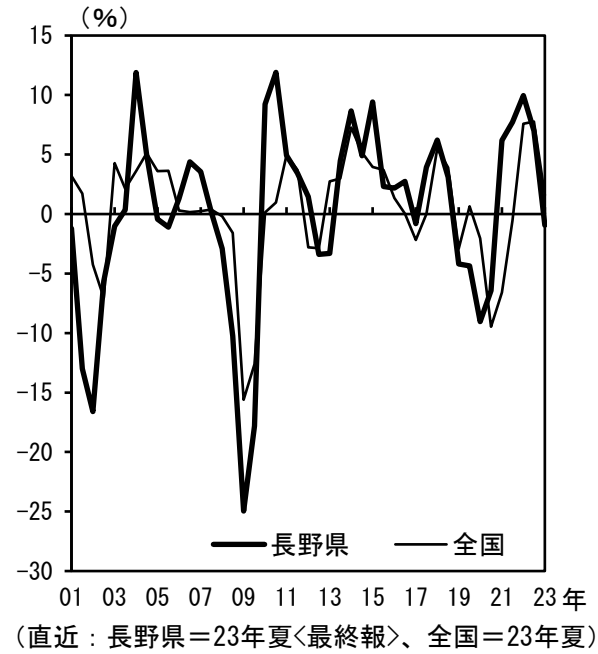
雇用・所得

▽ 名目賃金（前年比）



（出所）厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）



（出所）長野県：長野県
「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
全国：厚生労働省
「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、23/8月は前年を上回っている。



（出所）総務省、長野県



（出所）総務省、長野県

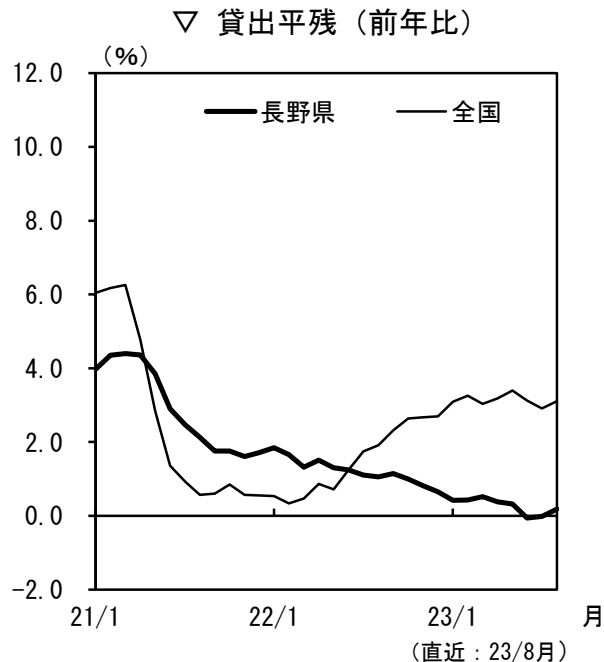
2. 金融

貸出金・預金

貸出残高は、個人向けの増加により、前年比で0%台前半のプラスとなっている。

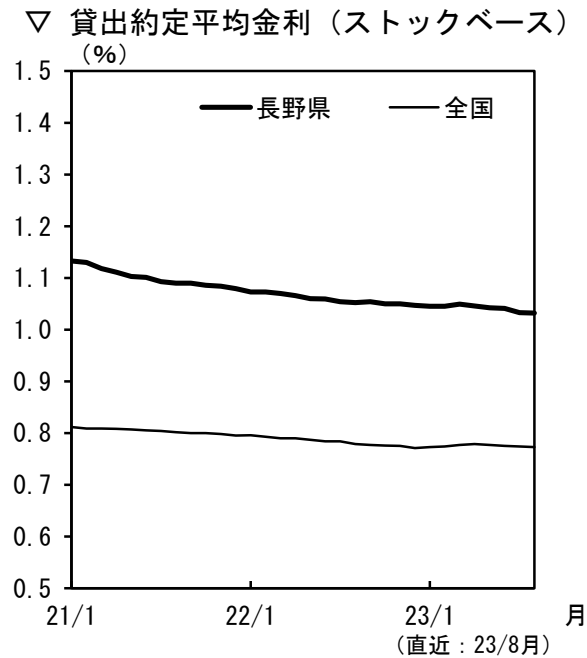
貸出約定平均金利は、横ばい圏内で推移している。

預金残高は、個人預金の増加により、前年比で1%台のプラスとなっている。



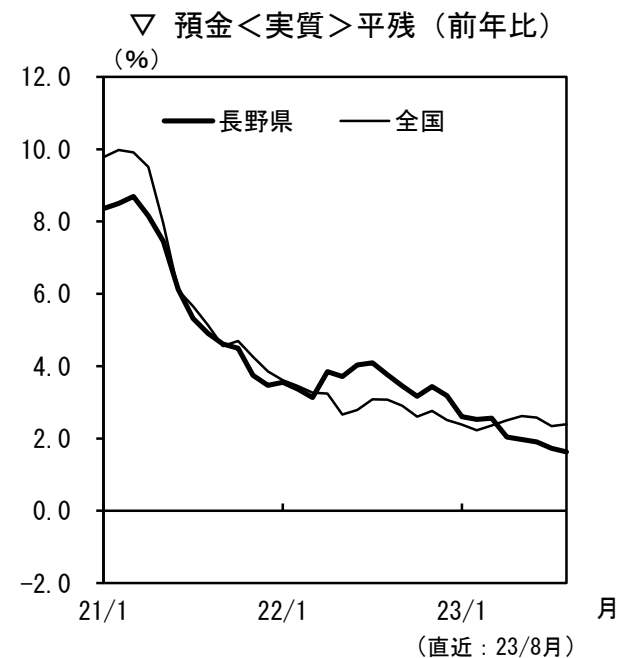
（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、SBI新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+⊕）。

・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行

長野県主要金融経済統計 (2023年10月2日)

— 統計数値の存在しないものについては、一律空欄としています。rは訂正・改訂値。

▽県内大型小売店売上高（店舗調整前）

[前年比・%]

	総額			
		衣料品	食料品	その他
22 / 4 - 6	1.8	0.8	2.1	-0.1
7 - 9	1.9	1.0	1.7	4.5
10 - 12	2.5	-1.3	3.3	-2.3
23 / 1 - 3	2.0	8.7	1.8	-0.4
4 - 6	4.6	1.6	5.1	0.9
23 / 4	4.5	1.8	4.9	1.5
5	4.2	5.2	4.6	-0.9
6	5.1	-2.0	5.8	2.1
7	6.5	5.0	7.3	-0.6
8	8.1	10.9	8.8	1.1
資料出所	日本銀行松本支店			

(注) 「その他」欄は、「衣料品」、「食料品」以外の品目の合計値。

▽県内高速道路インターチェンジの通行量（出入合計台数）

[前年比・%]

	合計							
		北信	東信	中信	南信	普通車	貨物・バス	
22 / 4 - 6	13.6	15.4	12.7	11.1	14.9	15.6	5.2	
7 - 9	11.9	9.7	15.0	9.9	14.1	13.7	4.6	
10 - 12	1.9	1.7	3.4	0.6	2.5	1.3	1.8	
23 / 1 - 3	10.6	11.0	11.9	8.8	11.2	12.7	1.7	
4 - 6	2.6	-1.5	3.9	3.3	5.1	2.2	2.0	
23 / 4	5.4	3.5	5.8	5.3	7.2	5.8	1.3	
5	3.3	-0.8	4.3	4.2	5.6	2.7	4.3	
6	-0.7	-6.7	1.8	0.4	2.7	-1.8	0.5	
7	5.9	4.0	6.8	5.6	7.3	6.1	1.9	
8	6.5	4.9	4.5	7.4	8.2	7.3	1.5	
資料出所	日本銀行松本支店							

(注) 1. 北信：姨捨・坂城IC以北のIC
 東信：上田菅平IC以東のIC（碓氷軽井沢ICを含む）および中部横断自動車道小諸御影料金所
 中信：麻績IC～塩尻ICおよび安房峠料金所 南信：岡谷IC以南のIC
 2. 普通車：主に小型自動車、普通乗用自動車
 貨物・バス：主に普通貨物自動車、バス（マイクロバスを含む）、トレーラ（一部を除く）

▽貸出関連（地元金融機関）

	平残 [前年比・%]	末残 [前年比・%]			貸出約定平均金利 月(期)中変化幅 [%ポイント]	
		計	法 人	個 人	新規(総合)	ストック(総合)
22 / 4-6	1.4	1.2	0.8	4.0	0.249	-0.011
7-9	1.1	1.1	0.8	3.9	-0.016	-0.005
10-12	0.8	0.5	-0.1	3.4	0.062	-0.007
23 / 1-3	0.5	0.4	0.4	2.9	-0.138	0.002
4-6	0.2	0.0	-0.2	2.5	0.172	-0.008
23 / 3	0.5	0.4	0.4	2.9	-0.182	0.004
4	0.4	0.4	0.4	2.7	0.168	-0.003
5	0.3	-0.0	-0.2	2.6	-0.167	-0.004
6	-0.1	0.0	-0.2	2.5	0.171	-0.001
7	-0.0	0.0	-0.0	2.4	-0.079	-0.008
8	0.2	0.1	0.2	2.3	0.089	-0.001
直近残高・ 金利水準	47,842 億円	47,811 億円	22,835 億円	16,369 億円	1.287 %	1.032 %
資料出所	日本銀行松本支店					

- (注) 1. 地元金融機関とは、管内に本店を置く銀行および信用金庫の県内店舗分。
 2. 平残の四半期は、各月平残の単純平均により算出。
 3. 法人は、公社を含む。
 4. 貸出約定平均金利の新規(総合)は、当月末貸出残高のうち、当該月中において実行した貸出(書替継続を含む)にかかるもの(当座貸越を除く)。

▽預金（地元金融機関）

	平残 (実質) [前年比・%]	末残(表面) [前年比・%]		
		計	法 人	個 人
22 / 4-6	3.9	4.1	2.0	3.4
7-9	3.8	3.1	1.9	2.9
10-12	3.3	2.6	0.8	2.5
23 / 1-3	2.6	2.0	1.6	2.0
4-6	2.0	1.9	0.7	1.8
23 / 3	2.6	2.0	1.6	2.0
4	2.0	1.9	0.2	1.7
5	2.0	1.8	1.5	1.7
6	1.9	1.9	0.7	1.8
7	1.7	1.7	-0.2	1.6
8	1.6	1.7	1.8	1.7
直近残高	117,197 億円	117,672 億円	26,004 億円	83,562 億円
資料出所	日本銀行松本支店			

- (注) 1. 地元金融機関とは、管内に本店を置く銀行および信用金庫の県内店舗分。
 2. 預金の平残(実質)の四半期は、各月平残の単純平均により算出。
 3. 預金の平残(実質)は、表面預金平残から切手手形平残を除いた額。
 4. 法人は、銀行のみ公社を含む。

▽銀行券

	発行 [前年比・%]	還収 [前年比・%]	発行・還 収(-)超 [億円]
22 / 4-6	-4.6	-4.0	744
7-9	-8.7	-10.7	616
10-12	13.1	-10.0	1,473
23 / 1-3	-22.9	-22.7	326
4-6	-15.6	-30.5	683
23 / 2	-38.5	-30.8	158
3	-20.6	-8.6	204
4	-16.1	-32.1	308
5	-7.4	-39.0	143
6	-19.7	-19.9	232
7	-18.0	-21.4	187
8	-1.4	-12.2	194
資料出所	日本銀行松本支店		

- (注) 日本銀行長野事務所扱い分を含む。